

**2017.03/13-16 たんぽぽ舎 参加8名**

**沖縄辺野古・高江の闘いに連帯するツアー**

**3月14日 初日 海上抗議行動**

・小雨の中 ホテルを6:10に出発。車で辺野古第2テントへ。7:00、船団とカヌー隊のミーティングに参加。この日は波浪警報が出ているのでカヌーは出られないとのこと。



カヌー隊と船団の拠点となっている第2テント。



抗議船で海上行動に出る。10時過ぎ、海保と沖縄防衛施設庁の作業船へ、海を壊すな！新基地反対！のフラカードで怒りの抗議。



今日は千葉さんもカヌーから抗議船で、新基地反対！



埋め立て海域を3キロにわたってこのブイを6000個も浮かべて、カヌー・抗議船を防ぐというが。







**3月14日午後、Cシュワフゲート前で座り込みに参加。物資搬入ゲート前、搬入時には機動隊との攻防。**



**懐かしい砂川基地反対同盟から連帯の看板が…**

**ゲート前で抗議のデモ 新基地建設反対!!**



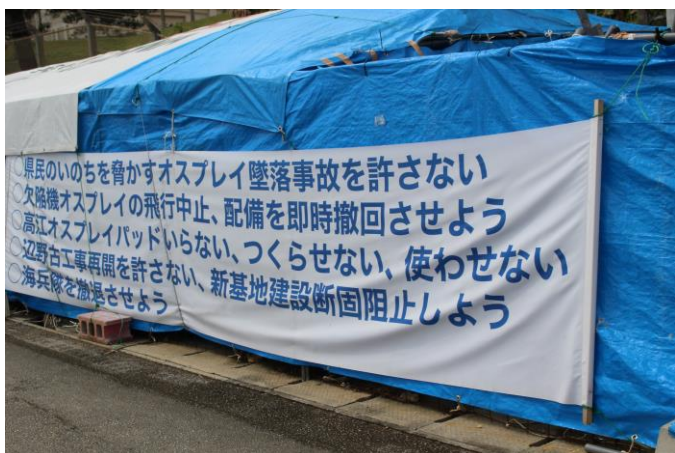
**たんぼぼ舎からも全員が連帯アピールを。**





不屈の座込み抗議。

988 日目ゲート前にテントが並ぶ。



座り込みの後、浜の第1テントへ

長い闘いの歴史を学ぶ 実に重い闘いだ！



帰り道に、オスプレイの墜落現場の安部の海岸へ。奥の小さな岩場に大破して墜落！この後、夕日を浴びて名護へ戻る。





### 3月15日午前 ゲート前座り込み参加

この日は快晴となる。やはりうれしい。  
水・土曜日は沖縄各地から集まるので、  
参加者は多くなる。



AED やトイレ(3キロ以上離れた)への送迎車が配慮されている。闘いの中から生まれた知恵だ。



正面ゲートでは米軍車両の出入りの際にフラカードを掲げて阻止行動が繰り返りひろげられる。



正面ゲート前にて。



3月15日午後 高江ヘリパットの闘いの現場へ  
辺野古から90分の車移動。東村高江N1テントへ。  
ヘリパットのゲート前に、20 数名の警備員が 24  
時間警戒している。

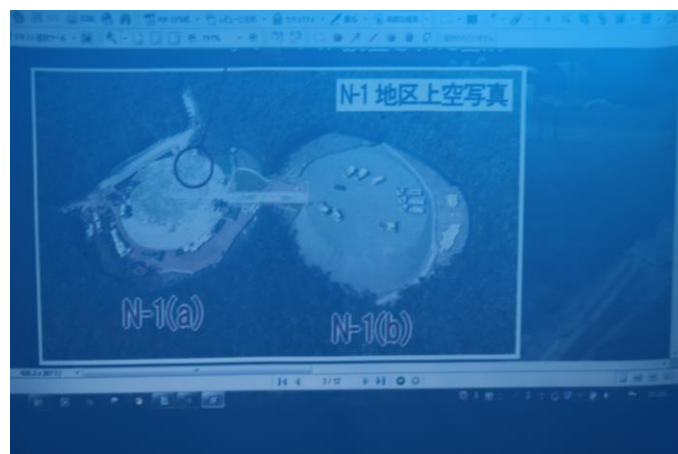




ヘリパットは北部地域には既設の 22 か所に加え、新たに 6 か所のヘリパットが、2007 年から作られ始めた。直径 75m で 7m から 10m 盛り土するので、これはオスプレイパットだといわれている。ケネディ駐日大使離任に合わせて粗製乱造された。改修が必要と言われているパットもある。



警備員が並んだ真向かいに N1 テントがある



テントの中で、パワーポイントでわかりやすい説明を受けた。ここでは、山田さんはオババと呼ばれ、人気者。



**N1 テント前で**

沖縄本島北部。豊かな森に囲まれた地域をやんばる(山原)と言い、絶滅危惧種の生物が生息、1000種以上の高等植物があり、世界自然遺産候補に挙がっている。この自然をヘリパットで壊すな!  
この思いが闘いの原点だ!  
この後、N1裏テントへ車で移動



途中に、J-power 沖縄電力の海水揚水発電所を遠望する高台があった。

**N1裏テント** 高江で闘う土木技師Oさんから、豊富なデータに基づく説明を聞く。



高江からの帰路、「東のオス(居酒屋)」で宴会と夕食。  
仕入先は目の前の海と言うだけあって、新鮮な魚料理が出る。釣果によってメニューが決まるとか。  
2日間の諸行動の打ち上げ、乾杯！